科目名: ゼミナール(問題解決入門)欧陽ゼミ		科目コード	EC03
	ゼミナール 卒業研究	単位	4(2)
担当講師:欧陽 菲		配当年次	3-4

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化(関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5カカ門の優修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として 5,000字程度の成果物を作成する。

履修の前提となる科目	□ あり	☑ なし	科目名

①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成 (資料・情報の収集、整理、引用など) に関する知識を習得できる。

科目の ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の 知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。 到達目標

成績評価の方法

出席と最終成果物の内容を評価します。

課題研究|講義科目

***	· / 88 85 47 14 3	면이 하는 하는 다시 나는	
科目名: セミナー	レいの政性法人	、門)齊藤 聡ゼミ	

担当講師: 齊藤 聡

ゼミナール 卒業研究

科目コード	EC03
単位	4(2)
配当年次	3-4

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化 (関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5 カ月間の履修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として 5,000字程度の成果物を作成する。

履修の前提となる科目 □ あり ☑ なし 科目名:

科目の 到達目標 ①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成 (資料・情報の収集、整理、引用など) に関する知識を習得できる。

②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。

成績評価の方法

最終成果物の内容を評価します。

되므요. 나 는 그	/ 日日 日古 从刀 之十 つ	門)齊藤弘诵ゼミ
科目名: セミナール	(冏跟辉决人	「こ」 賀藤551用セミ

担当講師:齊藤 弘通

ゼミナール 卒業研究

科目コード	EC03
単位	4(2)
配当年次	3•4

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化(関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5カカ門の優修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として 5,000字程度の成果物を作成する。

履修の前提となる科目 □ あり ☑ なし

科目名:

科目の 到達目標 ①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成 (資料・情報の収集、整理、引用など) に関する知識を習得できる。

②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。

成績評価の方法

出席と最終成果物の内容を評価します。

	/ BB B5 A7 th 3	88 \ / +	ム + バ っ
科目名: ゼミナール	【问识胜决人	、「コノ1左・	マルゼミ

担当講師: 佐々木 理恵

ゼミナール 卒業研究

科目コード	EC03
単位	4(2)
配当年次	3•4

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化 (関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5 カ月間の履修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として 5,000字程度の成果物を作成する。

履修の前提となる科目 □ あり ☑ なし 科目名:

科目の

①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成 (資料・情報の収集、整理、引用など) に関する知識を習得できる。

到達目標

②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。

成績評価の方法

最終成果物の内容を評価します。

科目名: ゼミナール(問題解決入門)佐藤ゼミ		科目コード	EC03
	ゼミナール 卒業研究	単位	4(2)
│担当講師: 佐藤 美香子			

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法、研究手法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化 (関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識 (解決すべき問題の明確化) などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5カ月間の履修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。

履修(か前提ん	しなる科	Ħ

□ あり ☑ なし

科目名:

科目の 到達目標 ①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成 (資料・情報の収集、整理、引用など)に関する知識を習得できる。

配当年次

3•4

②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。

成績評価の方法

最終成果物の内容を評価します。

課題研究|講義科目

科目名: ゼミナール(問題解決入門) 末崎ゼミ		科目コード	EC03
	マミナール	単位	4(2)
担当講師: 末崎 裕康		配当年次	3•4

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化 (関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5カ月間の履修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。

履修の前提となる科目	□ ā	あり	☑な	し 科	目名:

科目の 到達目標 ①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成 (資料・情報の収集、整理、引用など)に関する知識を習得できる。

②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の 知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。

成績評価の方法

プレゼンテーション・発表資料の内容・ゼミ内での討議への参加状況・成果物(ゼミ論文)の内容に基づき、総合的な評価を 行います。